Textbook of Japanese History for Elementary School on 1943 vol 1.pdf/64



2024年9月7日にウィキソースから書き出されました。

このページは校正済みです

な殺しにしました。敵艦全滅の報は、ただちに太宰府から京都へ鎌倉へと傳へられ、戰勝の喜びは、波紋のやうに、國々へひろがりました。世に、これを弘安の役といひ、文永の役と合はせて、元寇と呼んでゐます。

元は、さらに、第三回の出兵をくはだてましたが、すでにわが國威におぢけもついてゐましたし、それに思はぬ内わもめが起つて、とうとうあきらめてしまひました。わが國では、弘安の役後、十五年ばかりの間、なほ萬一に備へて、警戒をゆるめませんでした。

思へば元寇は、國初以來最大の國難であり、前後三十餘年にわたる長期の戰でありました。かうした大難を、よく乘り越えることのできたのは、ひとへに、神國の然らしめたところであります。時宗の勇氣は、大敵その思い務めにたへ、武士の勇武は、みごとに大敵をくじき、民草もまた分に應じて、國のために働きもした。まつたく國中が一體となつて、この國難に当り、これに打ちかつたのですが、それといふのもまり、これに打ちかつたのですが、それといふのもます。べて御稜威にほかならないのであり、神のまもりも現れるのであります。

神のまもりをまのあたりに拜して、國民は、今さらの やうに、國がらの尊さを深く心に刻みつけました。ま た、世界最強の國を撃ち退けて、國民の意氣は急に高 まり、海外へのびようとする心も、しだいに盛んにな つて行きました。

今、福岡の東公園をたづねて、龜山上皇の御尊像を仰ぎ、はるかに玄界灘を見渡しますと、六百五十年の昔のことも、今の世のことかと思はれて、深い深い感動に打たれるのであります。

About this digital edition

This e-book comes from the online library Wikisource^[1]. This multilingual digital library, built by volunteers, is committed to developing a free accessible collection of publications of every kind: novels, poems, magazines, letters...

We distribute our books for free, starting from works not copyrighted or published under a free license. You are free to use our e-books for any purpose (including commercial exploitation), under the terms of the <u>Creative Commons</u>

<u>Attribution-ShareAlike 3.0 Unported</u>^[2] license or, at your choice, those of the <u>GNU FDL</u>^[3].

Wikisource is constantly looking for new members. During the realization of this book, it's possible that we made some errors. You can report them at <u>this page</u>^[4].

The following users contributed to this book:

- Akaniji
- CES1596

- 1. <u>https://wikisource.org</u>
- 2. 1 https://www.creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0
- 3. https://www.gnu.org/copyleft/fdl.html
- 4. <u>1</u>https://wikisource.org/wiki/Wikisource:Scriptorium